

研究計画書

ゼミ名	稲田ゼミⅡ	チーム名	ソーシャル・ディスタンスⅢ
タイトル	関西におけるオーバーキャパシティとその対策		
テーマ群	d)国際経済 e)産業・企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>[研究背景]</p> <p>私たち、ソーシャル・ディスタンスⅢは関西 2 府 8 県の観光客の動向に注目してきた。関西経済は近年、インバウンドによって支えられており、大阪や京都を初めとする関西は観光客に人気がある。しかし、人気がある上で、観光客のオーバーキャパシティという問題が起きている。そこで、私たちはその問題への対策を考察してきた。</p> <p>[研究内容]</p> <p>初めに、(1)観光業が抱える課題の基礎知識を紹介する。具体的には関西 2 府 8 県の観光客数の動態を調べ、分析する。そして、(2)オーバーキャパシティの傾向が伺える地域を取り出し、その対策として総量規制と誘導対策を考える。そこで、(3)海外で実施された観光公害対策を例に、国内に適応できる事例がないか検証する。その上で、現在行われている対策についての改善点を新たに検証し直す。そして、(4)現在世界中で流行している新型コロナウイルス（以下 COVID-19）の影響に苦しんでいる観光産業にどのような展開が期待できるかを考察する。</p> <p>[期待される効果]</p> <p>これまでの国内の対策の改善点を踏まえて、私たちの提案する総量規制、誘導対策は人気観光地に人が集中し、オーバーキャパシティとなることを防ぐことが出来ると考える。観光客の混雑によるストレスを軽減することとなるため、観光の満足度が以前より上がると考えられる。また、知名度が低い観光地にも観光客が日本の観光の新たな魅力に気付くことが出来るという効果も期待される。そして、COVID-19 が収まった後、インバウンドで人が日本の観光地に来たとき、総量規制と誘導対策の効果が発揮されると期待できる。</p>		